

議事

(1) 議題 1 夏の特別展について（視察含む）

【委員】

とても楽しめた。少し気になったのが、錯覚で目がぐるぐるするので途中で体調が悪くなった時に、すぐに避難できるような経路はあるのか。また、他の対応方法はあるのか。

【指定管理者】

入口で声掛けを行っている。また、展示室内で体調不良になった時のために手摺を設置している。内側に突起物のない手摺を、スロープや展示が回転して見える場所に設置している。

利用者が展示室に入ってから出てくるまでの時間はそんなに長くはないが、例えば5分以上出てこない場合は職員が入って確認するようにしている。

【委員】

孫が利用した感想をお伝えする。

骸骨には驚かなかったが圧縮空気の出る音や骸骨の箱が閉まる「ガタン」という音が怖かった。錯覚で回転して見える部分は面白かった。私は少し酔った。出た後は「もう行かない」と言っていたが、最近は「また行きたい」と言っている。

【委員】

展示室を出た後にも3Dのしくみの解説があって科学館らしいものとなっていると感じた。構成が工夫してあって楽しめるものとなっている。古代文明をコンセプトとして順路を作っており世界観が出されていたが、上を見上げると、もともとの学習室の天井が見えて現実世界に引き戻される感じがする。防災上の問題等があるのかもしれないが、天井まで覆ってあるとより世界観に没入できると思った。

【指定管理者】

天井を覆った方が、より怖くて面白いと個人的には考えているが、天井を覆うと消防法に抵触する。また、展示内で体調不良の方がいた場合、すぐに照明を点けて対応ができるように天井は覆っていない。

【委員】

3D眼鏡を借りたが曇っていた。衛生状態はどのようにして確保しているのか。

【指定管理者】

濃度80%以上のエチルアルコールで払拭している。濃度が80%あればウイルス等も死滅する。

ただし、エチルアルコールで何回も払拭するとレンズの表面が傷み、ぼやけてくることもあると思う。

【委員】

私は展示室に入るのが2度目だが、やはり回転する展示の所が、気を付けていたが怖かった。後は風が出るところ、風がパッと出るので孫がそこで泣いていた。

【委員】

昔、子どもを2人連れてきた記憶がある。

5~6年前だと思うが、その時も今回と同じような回転する通路があり、他の内容は覚えていないが、その通路のことだけは今でも覚えている。今回の展示でも一番の見所だと

思うが、他にもう一ヶ所くらい見所があれば、毎年飽きずに行けるのかなと思う。

(2) 議題 2 年間パスポートについて

<事務局から年間パスポート導入について説明>

【委員】

年間パスポートが導入となり、要望した者としてうれしい。

2.5 倍という料金は、何を根拠に設定したのか。

【生涯学習施設課】

長崎市の施設で、先行して年間パスポートを導入している施設として、恐竜博物館、ペンギン水族館がある。どちらも入館料の 2.5 倍を年間パスポートの金額として設定しているため、科学館においても 2.5 倍と設定している。

【委員】

他の地区、市外、県外等も含めて検討したか。

【生涯学習施設課】

九州管内の科学館の状況を確認し参考にしている。

おおむね 2.5 倍から 3 倍の価格設定だが、本市の場合は、本市の他の施設との整合性を図っている。

【委員】

料金設定について、2.5 倍ということで適切であると考えている。

個人的な感覚でいうと 3 倍程度かなと思っている。余談となるが県内の他の施設に毎年、年間パスポートを購入し子どもと行っていたが、ある時、年間パスポートの料金が大幅に値上がりとなり、それを機に行くのをやめた経験があり、3 倍程度というのは適切であると考えている。

年間パスポート導入によりリピーターの増加を図るとしていて、そのとおりになると思うが、それ以外に利用者にとって特別な恩恵、例えばプレゼントの配布など、何か特別感があるとパスポートの魅力が増すのではないかなと思う。次期指定管理者が提案することとなると思うが、一つの案として提案しておく。

【生涯学習施設課】

特典については、次期指定管理者の提案になると考えている。

今まで都度、料金を払われていた方からすると、2.5 倍の金額で科学館を楽しんでいた点是非常にメリットがあると考えている。また、パスポート導入によりどの程度、利用者が増えるかは楽しみにしている。一定の周知をしながら利用に繋げていきたい。

【委員】

常設展とスペースシアターのセット料金の年間観覧料の設定となっていると思うが、スペースシアターのみ何回も来たいと考えている方もいるかもしれない。そのような方のために、スペースシアターのみ年間観覧料の設定はしないのか。

【生涯学習施設課】

展示室、スペースシアターどちらか一方に興味がある方もいると思うが、繰り返し来館いただくためには何らかの変化が必要であると認識している。スペースシアターについては番組の本数が興味を引き付ける要素になると考えている。一方、常設展示は全面的なりリニューアルは何年かごととなるが、展示室内のサイエンスショーステージでの工作教室や科学実験については、内容に変化をつけられると考えている。また、現在むしむし展を展

示しているエリアについては、固定の展示というより、時季に応じた展示を展開できるよう指定管理者の業務仕様としている。

常設展示のみ、スペースシアターのみの年間パスポートの導入は今のところ考えてないが、両方共に内容に変化をつけ、どちらも楽しんでいただければと考えている。

(3) 議事 3 令和 5 年度の事業報告について

<事務局および指定管理者から令和 5 年度のモニタリング報告、事業報告、収支報告、主な施設整備等について説明>

(4) 議事 4 令和 6 年度の事業計画について

<事務局および指定管理者から令和 6 年度の事業計画、主な施設整備予定について説明>

【委員】

モニタリング状況、人員配置の業務を実施するための適正な人員配置がなされているかの項目について、昨年と比べ、今年の野外活動、川、海、山での観察会では担当者が一人ということで、安全面に不安があった。人手不足な感が否めないなので配慮いただきたい。

また、主な施設整備について、現在のプラネタリウムはいつ設置されたものか。

【生涯学習施設課】

野外活動に対して人手不足だったのではないかと指摘について、市では職員が当初の計画どおりに配置されているかを踏まえて判断しているもので、計画どおりに配置されていたので良好と評価している。確かに一つ一つの個別の事業についても、安全面の配慮は必要と考えるので、しっかり聞き取りをしながら評価をしていきたい。

プラネタリウムは、2014 年度に入れ替えを行った機器である。

【委員】

令和 5 年度の事業報告について、資料 5 ページの項目番号 10 で、科学館で実施される主な事業について詳細に説明いただいた。

表中の学生ものづくりコンテスト、亀山電機主催のものに協力したもの、また、ハムの集い、アマチュア無線連盟の事業に協力したものなど、外部団体が主催する事業に対して科学館が協力したものについても科学館で実施される事業に含まれると認識した。

宇宙の学校について、資料 6 ページで動員人員として計上してあり、年間当り数百名が利用者として計上されている。宇宙の学校は年間 5 回程度開催され、1 回当り百数十名の方に参加いただき、科学館を会場として科学館の協力を得て開催している。このような宇宙の学校についても、資料の項目番号 10、科学館で実施される主な事業として記載いただければと思う。

【指定管理者】

亀山電機主催の事業や、ハムの集いについては、科学館が共催という形で場所を無料で提供している。開催場所の提供については、宇宙の学校も同様の取扱いとしている。

学生ものづくりコンテストでは、私が審査員長となっていることや、依頼に基づき協力していることから記載している。また、ハム（アマチュア無線）の集いの主催者には、科学館で実施する電気教室等に協力いただいているので記載している。

宇宙の学校についても、科学館で実施される主な事業として記載することを検討する。